

Small Talk台本②（第6時・第7時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。6年はペアで伝え合うことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく**本当の気持ち・本当の出来事**を話す。

話題1 先生の「なにもしなかった日」（第6時）

板書：I stayed home. I watched TV. It was relaxing. [家とテレビの絵は先生が黒板に手がきで（絵カードには無い）]

T My weekend? I stayed home. All day!

先生の週末？家にいました。一日中！（両手を広げて堂々と）

T I watched TV. I ate ice cream. And... I slept!

テレビを見て、アイスを食べ、それから…寝ました！（笑いが起きたら成功）

T It was relaxing! Very relaxing.

のんびりできました！すごくのんびり。

T How about you? Your relaxing day. Pair talk!

みんなは？のんびりした日を1つ。ペアで（1分×2回・相手を替えて）

S I stayed home, too! I played games. It was fun! / I read a book.

（1文＋感想で十分。行き先がなくても文になる、を全員で確かめる回）

つまった子への助け舟：「出かけた話」しか出ない子には「家にいた日のことでいいよ」と先に言う。先生が stayed home を最初に出したあとなので、出かけていない子の I stayed home. が堂々の1文になる。

話題2 世界の子どもの夏休みを、I で聞く（第7時）

板書：Same? Different? [教科書のOHページか世界地図を開く。先生は帽子など小道具を1つ]

T Hello! I'm Emma. I live in Canada. My summer vacation is two months long!

こんにちは！わたしはエマ。カナダに住んでいます。夏休みは2か月！（なりきってIで話す）

T I went camping. I swam in a lake. It was cold!

キャンプに行きました。湖で泳ぎました。冷たかった！

S Two months? Wow! / Camping? Me, too!

（おどろき・同じ、のどちらかが出れば十分）

T The sea? No. It is far from my town. Same or different?

海？ううん、町から遠いの。同じ？ちがう？

S Different! I went to the sea. / Same! I went camping, too.

（Same / Different のI語のあとに、自分のIの文が1つ言えたら◎）

つまった子への助け舟：先生が世界の子どもになりきってIで話す。Same? Different? の2択で全員が反応でき、Different! のあとに I went to the sea. とI文言えたら◎。国は教科書のOHの子どもに置きかえてよい。

中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

話題1（第6時）のペアの1回目のあとに全体で：「家にいた日のこと、英語で何て言えた？」とたずね、黒板の右に「家で過ごした日のことば」の箱を描いて、出た stayed home・watched TV・read a book を書きためる（3～4分で十分）→2回目へ。ふやすのはこの箱1つだけ。箱は第7時の活動3（夏休みマップ）まで消さない——stayed home も思い出の1つとして数える、を先に黒板のことばとして見せておくため。（思い出トーク本番①の質問の補給は、活動シート2の3枚目の中間指導台本で）

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・6年のSmall Talkはペアが中心。話題1は先生の「なにもしなかった日」で1分、ペア1分×2回。stayed home・slept を笑いにしながら堂々と言う——「地味な週末」が言いやすい空気はここでしか作れない（この単元の設計思想）
- ・話題1で先生が出す relaxing は感想の4語目。fun / delicious / beautiful に「のんびり」が足されると、出かけていない子の思い出にも感想がつく
- ・話題2は先生が世界の子どもになりきってIで話す（三人称を出さない）。Same? Different? の2択なら全員が反応でき、Different! のあとの自分のI文が第7時の思い出トーク本番②の準備運動になる

